

令和元年度第2回中津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会での主な意見

令和元年8月29日（木）15：00～17：00

中津川市役所4階 大会議室

企業立地奨励事業

- ・企業側からすると、補助金額だけでなく行政の許認可手続きの迅速さも立地の際の重要な判断材料である。市もそういったことに取り組むといいのではないかな。
- ・市外で新規投資を検討する経営者もいるため、それを引き留める動きも必要ではないかな。
- ・次期の計画においては、企業誘致やおもてなしといった観点で外に向かって取り組んではどうか。
- ・目標値について、新規雇用者数「16人／年」から、過去10年の実績を踏まえ、「20人／年」へ修正することは適切である。

千年の森磨き上げ事業

- ・東海学園大学のような例を他にも広げて、中津川市のPRとして活用していくといいのではないかな。
- ・単年の目標値について、林業体験者数「1,000人／年」から、新たな取り組みが始まることを踏まえ、「1,500人／年」へ修正することは適切である。
- ・5年間の最終目標値について、累計実績を踏まえて5年目の目標値1,500人を加算し、「4,000人」から「5,500人」へ修正することは適切である。

特産品販売促進事業

- ・高山市だけではなく、他の総合商社と連携の可能性もあるのではないかな。
- ・小規模事業者の生産体制の強化や販路拡大への支援が必要ではないかな。
- ・ビジネスチャンスが利益に結びつくよう、課題の明確化が必要であり、もう少し幅広く横断的に動くといいのではないかな。
- ・大手スーパーに拘らずにネットや通販などで販路を開拓してはどうか。
- ・目標値について、最終目標を達成する見込みであるため、見直しを行わないことは適切である。

子育て支援センター運営事業

- ・子育て支援センター利用率の定義は、対象者の中で利用したことのない人を除いた割合の人ではないかな。カバー率を目標にすべき。
- ・子育て支援センター利用率の中に、子育ての孤独感を解消するのに役立つその他のサービスや組織の利用者なども利用率に含めるべきではないかな。
- ・目標値について、現在の指標である「子育て支援センター設置数」を廃止し、新たな指標として「子育て支援センター利用率」とすることは適切である。